



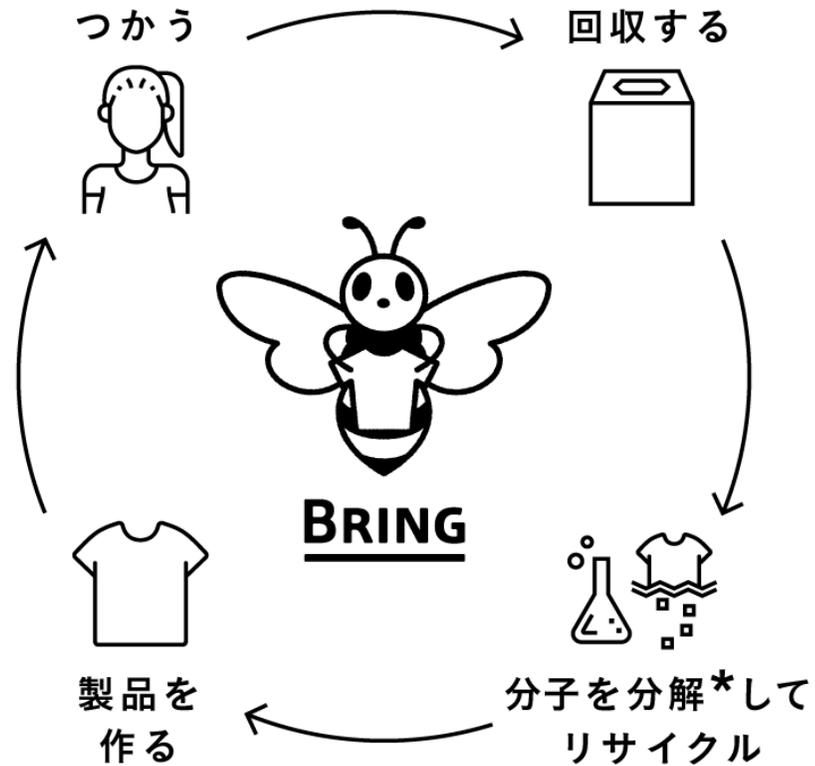
服
か
ら



BRING



服
を
つ
く
る



*ポリエステル繊維対象

ポリエステルをサステナブルに

わたしたちは、ポリエステルを減らすことや使うことをやめるのではなく、ポリエステルをサステイナブルな原料に変えてしまうことを選びました。

それは服を回収し、原料にまでリサイクルし、再び糸・生地・服をつくることです。

いつまでも、なんども続けられるBRING Technology

わたしたちが大事にしているのはいつまでも、なんどもリサイクルすること。
これまではPET(=ポリエステル)ボトルを服にリサイクルする方法はありました。
そして、その服をリサイクルする方法も求められていたのです。
そこでわたしたちは、いつまでも、なんども続けられる世界をつくるための
ケミカルリサイクルによるBRING Technologyを開発しました。





BRING+ハチマークは、2010年から日本環境設計が運営している回収・リサイクル・製品製造ブランドです。

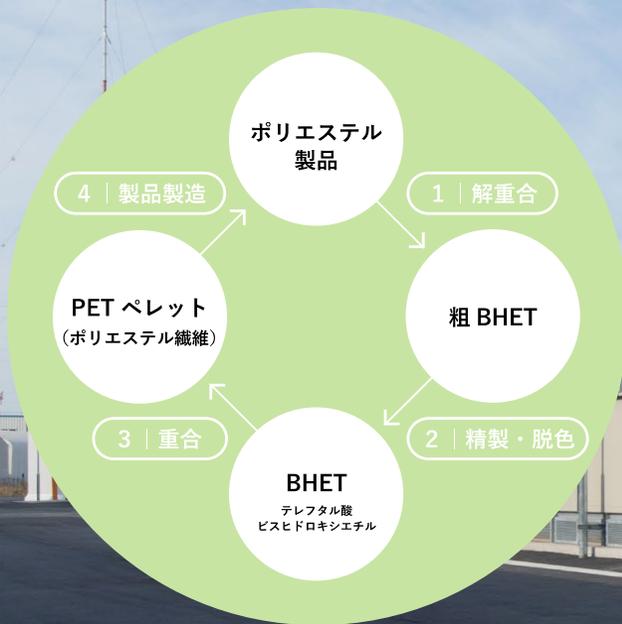
プロジェクト参加企業は、お客さまが店頭などに持ち込んだ繊維製品を回収します。回収した繊維製品は、使えなくなってしまった物は服のポリエステル原料などにリサイクルし、まだ使える物は寄付やリユースしています。



新しいポリエステルリサイクル技術

日本環境設計の北九州響灘工場

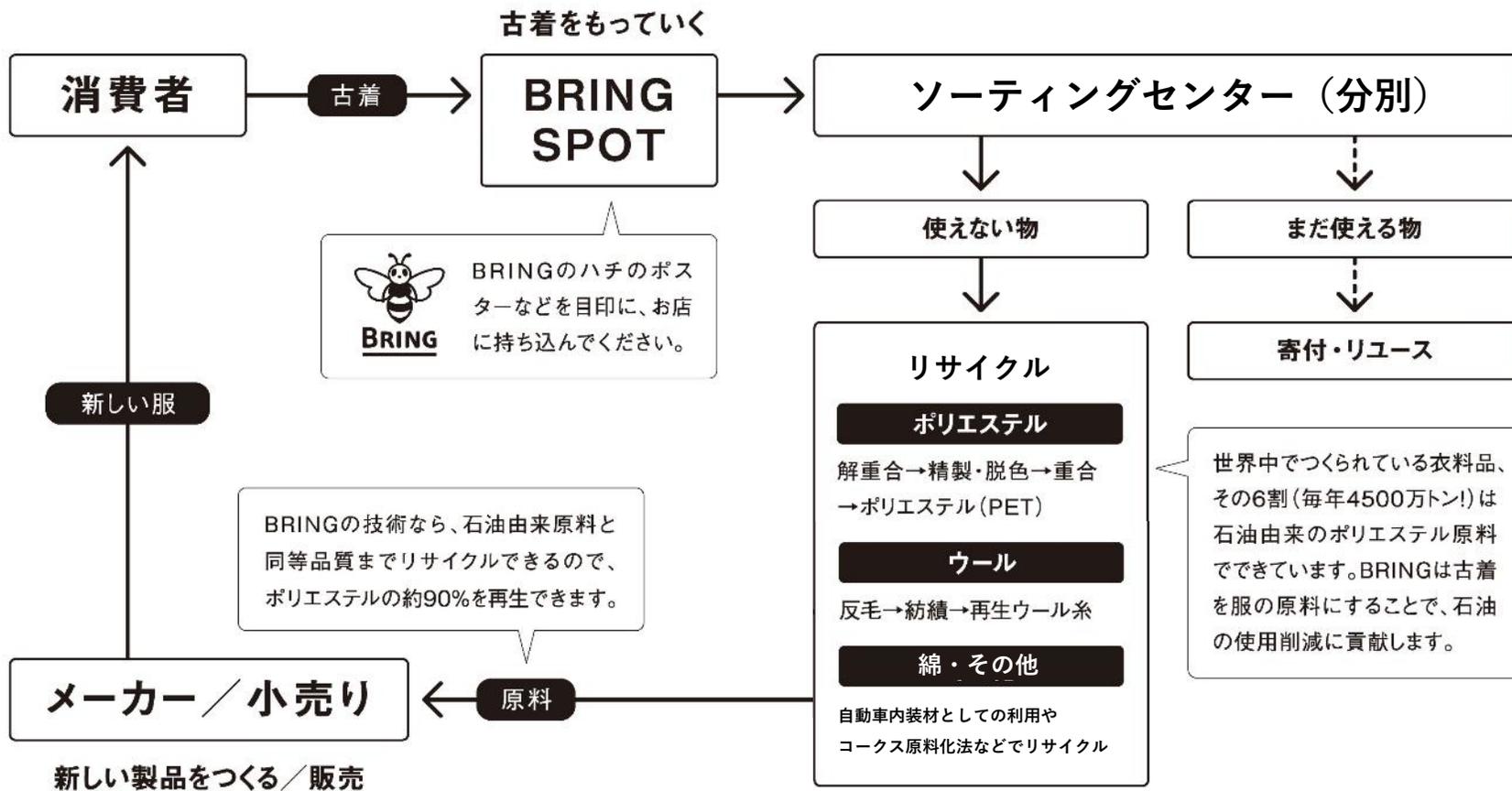
北九州響灘工場は、
 古い服をまったく新しい服に生まれ変わらせる工場です。
 生まれ変わった服は石油由来でつくった服と全く変わらない品質。
 わたしたちのリサイクルは一度や二度どころではありません。
 何回だって、リサイクルを続けることができます。
 これってとてもハッピーなことだと思いませんか？



パイロットスケールプラント
 総工費 : 30億円
 処理能力 : 400トン/年
 処理物 : ポリエステル混紡繊維製品
 生産能力 : 400トン/年
 生産物 : ポリエステル樹脂 (繊維由来原料100%)
 所在地 : 北九州市響灘海工業団地 (北九州エコタウン)
 NEDO (新エネルギー・産業技術総合開発機構) より4.8億円の補助金を獲得

使わなくなった服は
“BRING”して、
新しい服に生まれ変わらせよう。

タンスに眠ったお洋服は、BRING SPOTのシールが貼られたお店に
“BRING=持ち込んで”リサイクルしよう。
わたしたちは古着をヴァージン品質のポリエステル原料へリサイクルし、
もう一度まったく新しい服をつくることができます。





「服から服をつくる」文化をつくる

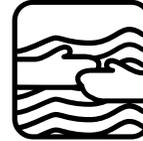
D2C・製品



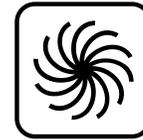
サステナブルなだけではない 欲しくなる製品をつくる D2Cブランド“BRING”



まるでコットンの触り心地



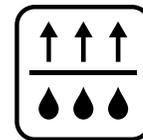
海洋汚染の原因となる
マイクロファイバーの抜け毛を防ぐ



渦巻く空気で糸をつくり、
コットンタッチを実現、毛玉と抜け毛とを防止



UVカット



異形断面糸による吸水速乾



BRING™の服は、 オールジェンダーに向けて作られています。

BRING™のすべての商品は、オールジェンダーに向けてデザインされています。誰もがBRING™の服を選択することができ、着る人を選びません。

XSから3XLまでの幅広いサイズを用意し、あらゆる体型にフィットします。着る人の性別のみならず、年齢や骨格も制限しないからきっとあなたにぴったりの服が見つかるはず。

持続可能なBRING™の服をすべての人へ。

BRING Material™樹脂 - CO₂排出量削減効果

- ✓ 当社の技術については、2019 年度に環境省がデロイトトーマツコンサルティングに委託しLCA調査を実施した。その結果、石油由来PET 樹脂と比較し28%の二酸化炭素削減効果があるとのことが示されている。
- ✓ この結果をもとにKHPにおいて2022年2月より採用している九州電力の電源構成※を加味すると49%のCO₂削減効果となる。

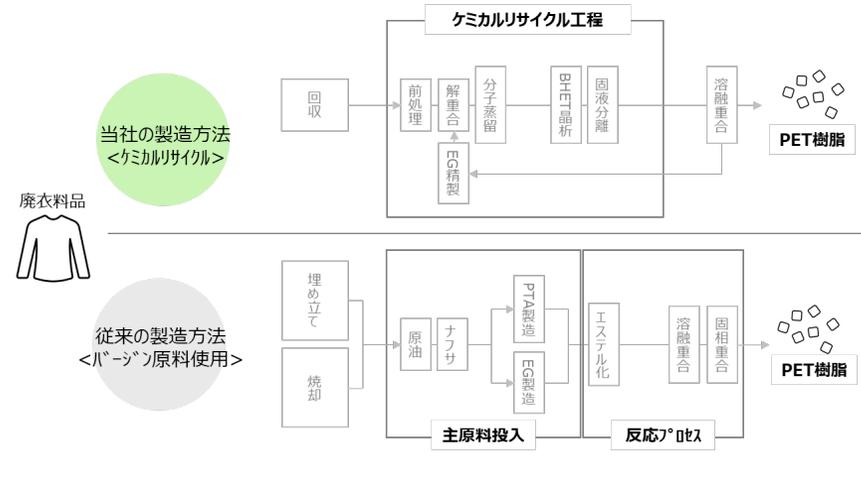
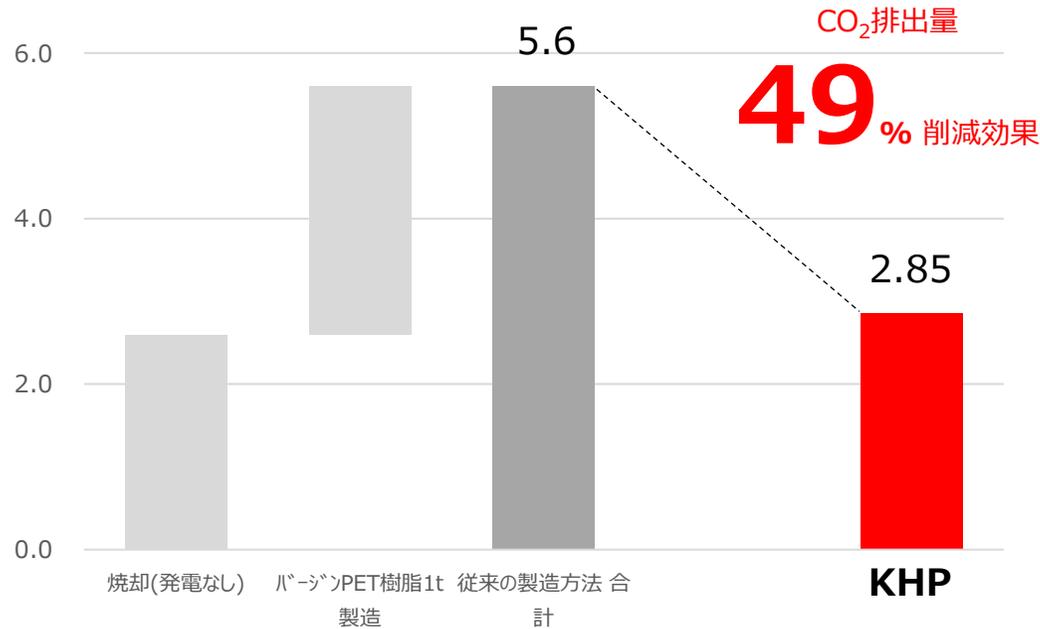


図1 プロセスフロー・バウンダリ図

※http://www.kyuden.co.jp/rate_adj_power_composition_co2.html

ケミカルリサイクルは、繰り返しリサイクルすることが可能であり、現在最終的には埋め立て・焼却されているようなものも原料として活用できるため、図1のバウンダリ設定としている。

○ Source : Deloitte Tohmatsu Consulting LLC. 「令和元年度 ケミカルリサイクルの二酸化炭素削減効果と脱炭素社会システムとしての評価検証委託業務 成果報告書」.2020 Outsource business from MOE(Japan) 2020,3.153p